令和6年6月発行

福江地区まちづくり協議会広報誌

令和6年度通常総会が5月8日（水）開催されました。

総会では、令和5年度の事業実績報告、収支決算・会計監査報告と、令和6年度事業計画、収支予算などについて協議が行われました。令和6年度は、新規の1事業を含む7事業を実施します。

役員も新たなメンバーでスタートするにあたり、会長の今村好和さんに、お言葉をいただきましたので、ご紹介します。

会長あいさつ

梅雨入りの時季となりましたが、住民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素から「まちづくり協議会」の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

今年は、新年早々能登半島地震や羽田空港での航空機衝突炎上事故が発生するなど大変な年明けとなりました。当協議会といたしましても、震災や事故で亡くなられた方々に哀悼の意を表しますと共に、インフラの復旧や仮設住宅の建設など被災された皆様が安心して暮らせる環境の整備が一日も早く進むことを心より願っております。

ところで、地震や豪雨災害などが発生しますとコミュニティの重要性が叫ばれます。1995年1月に発生した阪神淡路大震災のときには、行方不明者の情報収集や捜索などに地域コミュニティの基盤が確立している地域とそうでない地域では大きな違いが見受けられたそうです。また、避難所の運営やその後の復旧に向けた活動にも地域コミュニティの存在が大きかったと言われています。

このように、いざというとき住民の力を結集出来るようにするためには、平素から交流の場を作り、地域に関心を持つ仲間の輪を拡げていくことが極めて大切であると思います。

申すまでもなく、私達が住んでいる地域では人口減少や高齢化が進んでおり、今後生活する上で様々な問題が生じる可能性があります。そのような中でも「住みやすく、幸せに暮らせる地域」を維持するためには、住民お一人おひとりが地域の将来を考え、主体的に問題解決を図ることが大切です。

「まちづくり協議会」は、皆様が暮らしの中で課題と思うことや取組みのアイデアをお聞きし、その解決に向け皆様と手を携えて取り組んで参りたいと考えておりますので、ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

福江まちづくり協議会会長　今村　好和

令和6年度総会

協議会発足時から参与を務めていただいた山田義隆さんがご勇退されました。長い間ご尽力いただきありがとうございました。

令和6年度 役員紹介

役　職	氏名	所属
会　長	今村　好和	
副会長	須﨑　博行	江川町第二町内会長
理　事	野茂　正範	福江地区公民館館長
理　事	佐々野　忠宏	中央町第二町内会長
理　事	田口　彦祐	下大津町内会長
理　事	祢宜　渉	向町町内会長
監　事	福元　清秀	南町町内会長
監　事	山下　雅真	黄島町内会長

令和6年度福江まちづくり協議会事業の紹介

事業名	事業の目的・内容	
街路灯設置事業費補助金	住民の交通事故及び犯罪の防止を図り安全・安心なまちづくりを行います。	継続
街路灯電気料金補助事業	街路灯を管理する団体に対し、街路灯電気料金の負担減を図ります。	継続
敬老事業費補助事業	敬老会もしくは敬老祝品配布を行う町内会に対して敬老会事業費を助成し、敬老思想の高揚と福祉の増進を図ります。	継続
街路灯支柱建立・撤去補助事業	設置、撤去、移設等の工事に係る経費の一部を補助し、町内会の負担を軽減します。	継続
福江地区軽スポーツによる絆づくり事業	ソフトバレーボールを通し、汗を流し運動する楽しさ、喜びを知ってもらい、地域住民との交流、親睦、融和を図ります。	継続
異文化交流「地域の絆づくり」事業	①坂の上地区住民の交流の場を設けることにより、知己住民としての意識高揚を図ります。 ②日本語学校の生徒及び学校関係者と地域の人達との交流を図ります。	継続
まちゼミ	地域住民の交流と地域づくりへの参画の輪を目的として、地域づくりに取り組む人や専門的な知識を持っている地域の人を講師として講座を開催します。	新規

☺福江まちづくり協議会では、街路灯のLED化を推進しています。☺

電気料金が町内会の負担になっていませんか？
街路灯をLEDにすることで電気代が安くなります。

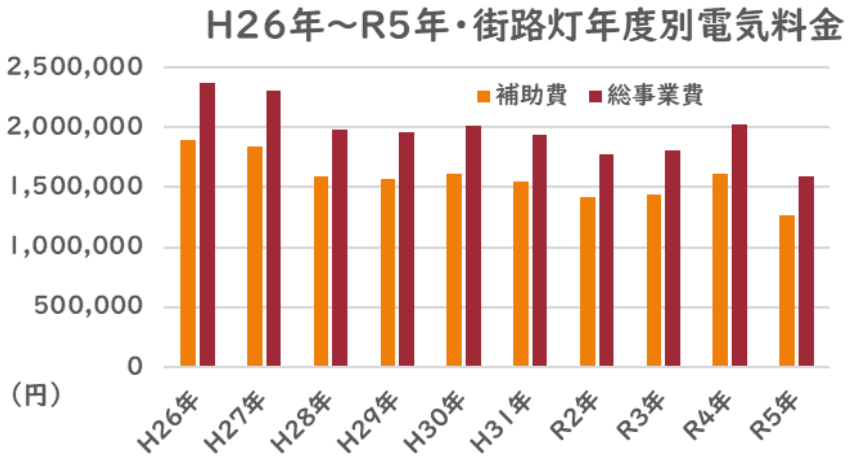
下の表は、ある町内会の電気料金の例です。
平成30年度までに11基すべての街路灯をLEDに変えたところ、
令和5年度の電気料金は平成26年度と比較して約半分になっています。

R5電気料金の比較
（1基あたりの平均月額）
LED：130円
20W：173円
40W：238円
60W：338円
100W：931円

	40W	60W	LED	計	LED化	電気料金
H26	2	5	4	11	36%	33,232円
R5			11	11	100%	17,413円

15,819円（48%）安くなりました！

※H26年はR5年度の実績で算出しています



LEDにすることで、電気代が安くなるだけでなく、夜道も明るくて安全・安心な地域になります！！
さらに、環境にも優しい！！

LED基数と電気料金の比較

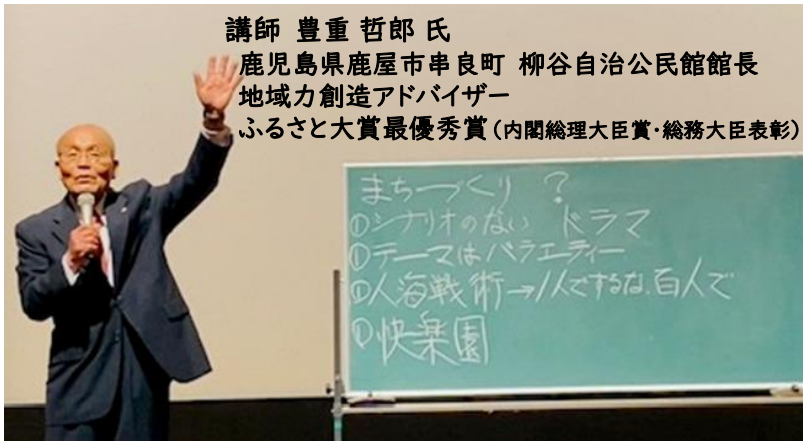
年度	LED基数	電気料金総額
H26	176	2,367,389円
R5	577	1,586,349円

まちづくりフェス ～ goto machi fes. ～

令和6年2月18日（日）に福江文化会館で、五島市初となる地域づくりイベント「まちづくりフェス」が開催され、約600名の方が来場しました。

イベントでは、鹿児島県の「やねだん（柳谷自治公民館）」の館長である豊重哲郎さんが講演。無関心層や反対意見の持ち主を取り込み全住民参加型の地域づくりを実現した苦労や工夫、そして、行政に頼らない地域おこし実践のプロセスを紹介していただきました。

講演の他にも、会場ロビーでは、五島市内13地区のまちづくり協議会による活動紹介や、郷土の味（料理）の提供、体験コーナーの設置を行い、ステージでは、「鬼神太鼓」、「白鳥神社神楽」、「高田青年団チャンココ」が披露され、イベントの最後には、各まちづくり協議会提供の、地域の特産品（お米、お肉、お酒など）が当たる抽選会が行われました。来場された住民のみなさん、そしてスタッフのみなさんに沢山の笑顔があふれ、みんなでつくり上げた『まちづくりフェス』になりました。



講師 豊重 哲郎 氏
鹿児島県鹿屋市串良町 柳谷自治公民館館長
地域力創造アドバイザー
ふるさと大賞最優秀賞（内閣総理大臣賞・総務大臣表彰）

まちづくりフェスでは、
各地域自慢パネルを展示‼
福江地区まちづくり協議会
も、これまでの活動をパネ
ルで紹介しました。住民の
みなさんに見てもらう良い
機会となりました。

地域おこし協力隊紹介

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域などの条件不利地域に住民票を移動し、3年の任期の中で、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援など、様々な「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

今年の4月から「地域拠点の創出」のため活動を行っている、地域おこし協力隊の「西田双太」さん、「川口海渡」さんです。お二人は、各地区のまちづくり協議会や、地域で活動する人たちとコミュニケーションをとりながら、住民さんが気軽に集まって地域のことを話せる場所「地域拠点」をつくる取り組みを行います。

西田 双太（そうた）

東京から来ました。趣味はジョギングで、今年の五島つばきマラソンに参加して、五島の方々のやさしさにふれました。
五島市の地域おこし協力隊として、皆さんからのお話を伺いながら、一緒にどのようにしたらよいかを楽しく考えて、すすめられたらと思っています。
五島に来て間もないので、いろいろ教えて下さい。
どうぞよろしくお願いいたします。

川口 海渡（かいと）

以前は大阪で映画の広告宣伝のお仕事をしていました。趣味は音楽・映画鑑賞で、学生の時は演劇もしていました。お酒も大好きなので、もし一人で飲んでいるところを見かけたら、話しかけてくれると嬉しいです。
エンタメやイベントを中心に、楽しいことや面白いこと、元気が出ることをたくさんしたいと思っています。

集落支援員紹介

令和5年8月から福江地区まちづくり協議会の支援員をさせて頂いている本岡です。不慣れな点もたくさんあり地域の方、福江地区の会長さん達にご迷惑をかけながらも、楽しく仕事させて頂いています。地元は富江町山下です。何年たっても山下弁が抜けず、子ども達も福江に住んでいるのに山下弁ペラペラです。4月から地域おこし協力隊の方2名が仲間に加わりました。お2人の力をお借りし、福江地区の魅力を、地域住民の皆さんと話し合いながら引き出していきたいと思っています。宜しくお願い致します。

令和6年度新事業募集しています

まち協は住民の皆様と楽しくいろいろな活動をしています。高齢者は伝統的な文化を子供達に伝え、子供達は高齢者に元気を与えています。行政だけでは対応できない、地域だけでは解決できないなどの問題を、地域住民と情報を交換し新しい事業を一緒につくりませんか。ご提案やご相談をお待ちしております。

福江地区まちづくり協議会事務局
〒853-8501五島市福江町1番1号
（五島市役所3F地域協働課内）
TEL:0959-76-3070 FAX:0959-74-1994